

政策と経済 (3) 課税の経済効果 *

課税の目的 †

1. 公共財・公共サービス供給の財源確保 (収穫逓増産業への補助金)
2. 外部性の内部化 (外部不経済の相殺)
3. 所得再分配 (所得分配の是正)

税制と経済効果

- ・消費税 - (1)個別消費税 (2)一般消費税
 (仮定) 所得をすべて消費にあてる, 課税後も労働投入が不変
 => 「一般消費税と包括的所得税は資源配分に同じ効果をもつ」
 (例) 「25%の一般消費税」と「20%の包括的所得税」

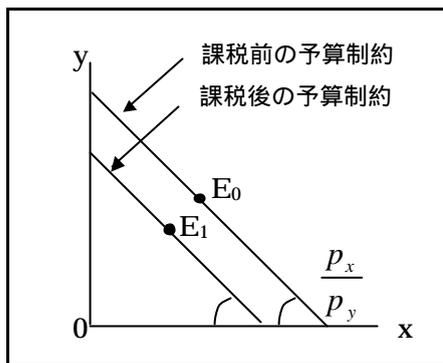
・効率性と公平性

(個別消費税 [図2]参照)

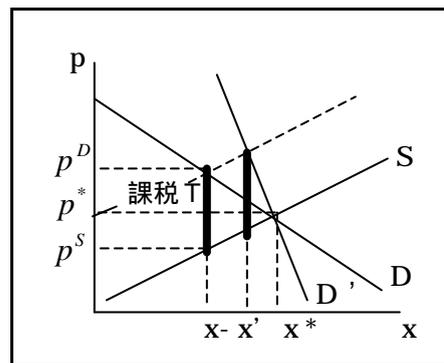
- 「効率性」の観点 非弾力的な財には「重く課税」すべき
- 「公平性」の観点 非弾力的な財には「軽く課税」すべき

・さまざまな税制と経済活動

- 酒税 (ビール税制) 2003年5月 税制改正 (発泡酒への増税)
- 法人税 (タックスヘイブン対策税制)



[図1] 一般消費税と包括的所得税



[図2] 弾力性と厚生費用

【問題 11】

「一般消費税と包括的所得税は資源配分に同じ効果をもつ」ことを説明せよ

個別消費税について, 効率性の観点では, 需要の価格弾力性が非弾力的な財に「重く課税」することを, 公平性の観点では, それに「軽く課税」することを求める理由を説明せよ.

* Copyright©2003 藤生 裕

† レイヤー・ウォルターズ 著, 荒 憲治郎 監訳 (1982) 『ミクロ経済学』(第3章・第6章, 第11章), 創文社